

# 第30回

# 芦屋さくらまつり

昭和63年4月3日

ふるさと意識を育てる  
「まつり」として  
『さくらまつり』が  
始まりました。

平成30年4月7日・8日

想いを重ねて  
受け継がれてきた  
第30回『さくらまつり』を  
開催します。



広報あしや 昭和63年3月15日号  
第1回芦屋さくらまつり



広報あしや 平成10年3月15日号  
第10回芦屋さくらまつり



広報あしや 平成20年3月15日号  
第20回芦屋さくらまつり

## 市内にお住まいの3分の2以上の方がこのお祭りにくることが私の願い 芦屋さくらまつり協議会・会長 小田脩造さん

芦屋さくらまつり協議会の会長を20年以上務める小田さんの芦屋さくらまつりへの想い。

「このお祭りが始まった時からずっと携わっているのも、とても思い入れの深いお祭りです。今では市内にお住まいの半数ぐらいの方が、このお祭りに足をはこんでくれるようになり大変喜んでます。満開の桜の時期にお祭りが開催できれば、来た人は桜を眺めながら屋台の食べ物や飲み物で1日中お祭りを楽しむことができ、

大変盛り上がるのですが、桜の開花は4・5日ととても短い。ですから、桜の満開とお祭りの開催日が重なるのは、とても難しいことだと毎年感じています。今回は記念すべき30回目ですので、芦屋さくらまつりがお天気に恵まれ満開の桜の下で開催できることを祈るばかりです。市内にお住まいの3分の2以上の方がこのお祭りにくることが私の願いです。ぜひ、皆さん今年の桜を見に来てください。」



## 子どもたちの『生まれたまちの思い出』になるようずっと残していきたい 芦屋さくらまつり実行委員会・委員長 石本章宏さん

芦屋さくらまつりの実行委員長として、毎年芦屋さくらまつりの開催に尽力する石本さんの熱意。

「私の役目は芦屋さくらまつりを開催するまで。当日はお祭りの状況をジッと眺めながら問題点を探し、来年の改善に活かします。その繰り返しで30回、今の芦屋さくらまつりがあります。参加者が増えるにつれて出てくる、大量のゴミ処理やトイレの確保など色々な問題を解消し

てきました。他のお祭り会場に比べたら芦屋さくらまつりは清潔で安全なので、お年寄りから子どもまで安心して参加してもらえます。このお祭りが芦屋の子どもたちの『生まれたまちの思い出』になるようずっと残していきたい。そのために毎年芦屋さくらまつりが開催できる仕組み作りをして、次の世代に引き継ぎたい。それまでは頑張りますよ。30回目の今年は、照明を工夫したステージにしようと考えていますので、皆さんステージもぜひ見に来てください。」

